

令和3年度 相模台地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	桜台美術館運営に関する事業	【 No. 1 】
申請団体	桜台美術館運営委員会	
事業目的等	児童生徒の文化的感性の育成及び地域住民の文化交流と親睦による町おこし。	
交付決定日	令和3年4月21日	
交付決定金額	60,000 円	(全体事業費 64,356 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <p>令和3年度の桜台美術館の運営に関しては今年度もコロナオミクロン株の感染拡大による諸対応の結果年間計画では10回を計画したにもかかわらず、結果として計画していた主だった主催団体を統合した合同展として11月～12月の間、展示を実施した。この間桜台小学校の生徒には各学年の先生方の指示により会場を訪れ鑑賞や各個人ごとの評価などを行った。残念なのは、今年度は十分な地域住民への公開やこれに伴う懇談などが実施できなかったこと。今年度も計画を消化できなかった展示グループについては次年度新たに計画し実行する。</p> <p>◇自己評価</p> <p>昨年に引き続き十分な成果を得ることが出来なかったことが非常に残念に思う。しかし、相模原市の方針や学校の生徒に対する安全性などを考慮した対応については当然の結果と考える。桜台小学校や地域の皆さんからの期待が大きいだけに主催側としてはいたたまれない気持ちであるが次年度は通常の状態に期待したいと考える。</p>	
市評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業計画の変更を余儀なくされた中でも、合同展示の実施など、児童生徒の文化的感性を育むため、多くの作品に触れる機会を提供されたことを評価する。</p> <p>また、本活動が新聞で紹介されたことは、これまでの地域貢献の表れでもあり、今後も事業の継続・発展を期待したい。</p>	
備考		

申請事業名	中学校と連携した自転車安全教室	【 No. 2 】
申請団体	相模台地区自治会連合会	
事業目的等	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車マナーの向上。 ・交通事故の減少。 ・中学校の授業として行うため、全校生徒が参加する。 ・自転車事故の怖さを目で見て疑似体験することで、被害者・加害者にならないための注意喚起を促す。 	
交付決定日	令和3年6月16日	
交付決定金額	290,000 円	(全体事業費 291,593 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <p>プロのスタントマンによる事故の再現で怖い、ヒヤッとした体験を通し交通安全意識を高め、交通ルールを守る大切さと無謀運転の危険性を学ぶことができ、安全指導の目的は達成できた。</p> <p>地域の方からの「高校生の自転車マナーが悪く危ない。中学生のうちにマナー教室を開いてほしい。」という声と、近隣で大型車の左折による自転車巻き込み死亡事故が起こり、若い命を守りたいという思いが一致し、それに応えるように生徒が真剣に取り組んでくれた。</p> <p>近年、自転車事故による逮捕者や多額の賠償金支払いの事案が多く発生していて、未成年でもルール違反を犯したり加害者になった時には罰金や賠償金が発生することを学び、マナー向上に繋がった。</p> <p>◇自己評価</p> <p>令和元年度から3年計画で地区内の中学校授業に取り組めたことで、全生徒がこの体験を受けたことは高評価できる。</p> <p>3回の事業を終え、開催する季節や校庭の違い、生徒数によって留意点が見えてきた。また、実施結果から期待以上に生徒への反響があったことから、今回の結果を検証しつつ、将来的な継続の取り組みについて検討したい。</p> <p>今回の南警察職員による実演・講話は、過去のアンケート結果を基に行いたいとの依頼があった。実際の講話・実演を生徒が真剣に取り組んでいたため、今回のアンケート結果も今後のために活用していただきたいと思う。</p>	
市評価	<p>自転車に乗る機会の多い中学生を対象に、学校と連携し今回の事業を実施したことは、日頃の啓発活動に加えてさらなる安全意識の向上に寄与するものであった。</p> <p>地域課題解決の一助になる事業であり、当初計画の成果を検証しつつ、来年度以降の実施についても期待したい。</p>	
備考		

申請事業名	双葉小児童と連携した地下道環境美化活動	【 No. 3 】
申請団体	双葉小学校 PTA	
事業目的等	大沼トンネルの壁のいたずら書きを消し、そこに子どもたちの絵を飾り明るくすることで、街の美観を整えるとともに、多くの方が通勤・通学路として利用される道路として防犯上の安全も確保する。	
交付決定日	令和3年8月18日	
交付決定金額	300,000 円	(全体事業費 338,660 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <p>当初の事業計画書とおり次のスケジュールで3作品を展示した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・双葉小学校と調整し、令和3年9月から児童たちの絵の制作を開始した。 ・令和4年2月に児童の作品が完成した。 ・2月から3月上旬にかけてトンネルの壁を塗り直し、児童の作品を壁面展示用に加工し、設置した。 ・令和4年3月14日(月)に除幕式を開催し、お披露目した。 <p>除幕式では、児童たちの「落書きのない明るいトンネル」を願い制作に取り組んだこと、それぞれの絵のテーマが発表された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大沼トンネル内の展示に加え、南合同庁舎での原画展示や各種メディアに協力いただき、事業のPRをすることができた。 <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トンネルの美観による地域の安全・安心を目的とした事業であったが、コロナ禍でイベントが少なくなってしまった児童たちの思い出作りにもなる事業となった。 ・落書きの無い綺麗な地下道は多くの住民の願いでもあり、実現に至ったことは、地域の安全・安心にも大きく貢献できたと感じている。 ・展示パネルは入れ替えできるような仕様にした。来年度は反対側への壁面に展示を計画しているが、将来的には今回の作品に加え、季節に応じた様々な作品を展示できるように本事業を発展させていきたい。 	
市評価	<p>落書きのない地下道の実現に向け PTA が中心となり、学校や地域と連携し事業の実現に至った実行力、また、来年度の展示計画に留まらずその先も見据えた計画としていることを評価する。</p> <p>地区内には、ほかにも落書き被害に悩む場所が点在しており、こうした取り組みの輪が安全・安心なまちづくりに繋がることを積極的に PR して欲しい。</p>	
備考		

申請事業名	コロナを乗り越えようイルミネーション事業	【 No. 4 】
申請団体	相模台団地自治会	
事業目的等	相模台団地の中央を横断する中央通りをイルミネーションで装飾することで、先が見えないコロナ禍で開塞感のある毎日を送ってらっしゃる地域の皆さんを元気づけ、コロナを乗り越え前向きな気持ちになってもらい、ひいては地域の活性化につなげたいと考えています。	
交付決定日	令和3年10月20日	
交付決定金額	142,000 円	(全体事業費 266,099 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イルミネーション点灯期間 令和3年12月1日(水)から令和4年1月22日(土) 午後5時から9時まで ・イルミネーション内容 団地内の中央通路(約250m)に5か所のポイントを決め装飾した。 ・飾りつけは会員を中心に行い、12月1日に点灯セレモニーを開催した。 <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老若男女問わず、地域住民の協力により一体感を持ったイベントとなり、また、たくさんの温かい言葉や評価をいただき、当初の目的を達成できたと考えている。 ・2年間の事業実施により、電飾材料は本交付金や寄贈により一通り揃ったことから、来年度以降は自主財源での実施を目指していきたい。 	
市評価	前年度の経験を生かし、イルミネーションの中央通路全体への拡大などの工夫が見られ、また、防犯の視点や近隣自治会との連携方策、さらには、自主財源による実施を明確に視野に入れたことは、2年目にして大きな発展を成し遂げたものと評価する。地域の冬のイベントとして更なる発展を期待したい。	
備考		